

ある本に書かれていた。

## 経験は私の財産

結婚する直前、  
夫になる人と一緒に  
お遊びで占いをしてもらった。

占い師は言った、

「もう決めてるんでしょ？  
それじゃ～、もう何を言ってもしょうがないわね」。  
言葉は本当にそれだけだった。

楽観的な答えでないことはわかったが、  
結婚はもう決めていたので、  
彼と2人笑った。

「それならそれでもいいよね、もう決めちゃったんだし、  
やってみればわかるよね」ってな感じだった。

結婚式の日。  
指輪の交換で私は指輪を落とした。  
まわりがシーーーーーーン。  
(あら、やっちゃった、、ゴメン)

そして、10年後。  
別れた(爆)

結婚前から  
「愛情がなくなった時は別れようね」と話していたので、  
そして期待も努力も抵抗もなかったので、  
ケンカもなくすんなり別れた。

結婚中もお互いにこれといった不満もなく、  
相性は良かったと思う。

不思議なのは、  
その後、彼の再婚した日がはっきりとわかったこと。

日曜日の朝、半睡状態の中で  
「今日は彼の結婚式！おめでとう！！」と祝福していた。

自分の代わりに世話をしてくれる人ができて心から安心した。  
人ごとのようで人ごとでない不思議な感覚。

あれから10年近く経った今も何故か相手の状態がわかる。  
特に彼が病気をした時には  
(どうしてあげることもできないけれど)。

そんなふうな関係なので、別れる必然性はなかったと思う。  
私が変わり者の自由人過ぎただけ。  
「一旦別れてみて、また結婚したかったらすればいいじゃない」と、  
あの時気楽に言った。

私にとっての結婚・離婚は  
” 聖なる誓い ” なんて  
そんなカッコいいものではない

” 日々の生活そのもの ”

日々共に変わっていくだろう。  
人間関係だってエネルギー、  
” 水もの ” だから常に流れがある。

一カ所に留まろうとすれば水は淀んでしまう。  
同じ状態を維持するための努力より、

変わってしまった方が早いことがたくさんある。

メンバーチェンジには執着しない。  
だから人間関係を誓うなんてできない。

結婚も人間関係も仕事も趣味も、  
やり続けることに重きを置かず。  
結果が時間と共に現れるだけ。

結婚と離婚、経験してよかった。  
人間関係の深さと複雑さとシンプルさを  
同時に平行に  
知り得たことは私の大きな財産。

いま、結婚制度ってものがよくわからない。  
素朴に考えてみるほどわからない。

最近、  
気楽な関係のカップルが  
「浮気」という単語を使うと知って、  
すご〜〜くびっくりした。

結婚しない所有の関係？

窮屈でないのだろうか？